

## 図書館員の四季

まだまだヒヨコですが…。

宇治徳洲会病院 神田智香子

「光陰矢の如し」といいますが、私が当院に入職して早3年半が経ちました。正直いって、私に医局秘書(図書室業務兼任)の仕事が舞い込んだ時は“何て不似合いな…”と思いました。血液型O型、趣味・競馬観戦、果てしなく楽天的な私に秘書という知的で(?)細やかな仕事ができるのだろうか。周りの人も「似合わない」の連発! が、実際に仕事をしてみると、秘書業務・図書業務ともイメージとは大違いで、力仕事のオンパレード。重いだの汚いだのいってられない場面によく出くわします。これぞ肉体労働、まさに私にピッタリ! やはり適材適所だったのでしょう、楽しい3年半でした。

ただ、楽あれば苦ありで、図書室業務が理解されにくく、研修会に参加できる機会が少ないこと、書架不足、図書の無断持出・紛失、予算不足は慢性的な問題で、何ら解決の糸口さえ見いだせていないのが現状です。コンピュータ化などは夢のような話で、後進図書室といっても過言ではありません。

今後は、単なる図書整理員にとどまるのではなく、一応当院での問題について理解している図書館員として、現状打破に向けてアピールしていかねばと考えています。

動かなければ誰もわかってくれませんもの。ひたすら前進あるのみです。とはいっても、3年半のヒヨコにどこまでできるかわかりませんが…。これからも皆様からいろいろな知恵をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

インターネットに挑戦

姫路聖マリア病院 小山 陽子

医局秘書と図書室の兼任になってから早、4年と半年が過ぎました。元来のんびりしていて面倒くさがりやの私は、図書室業務に向いていないと実感しながらもマイペースをモットーに頑張ってきました。4年半の間にスライド作製コンピュータ・文献検索CD-ROMの導入があり、一日に最低一回はコンピュータに向かうようになりました。家に帰ってまでコンピュータにさわりたくない心境でした。

そんな私も時代の波に乗ろうと思い切って自宅でインターネットを始めました。某テレビドラマのようなドキドキするようなメール交換ができるかもしれない! と期待で胸を膨らませていましたが、現実はその甘くはありませんでした。始めた頃は友人にメールを送って連絡をとるだけで、あとはほとんど使っていない状態が続いていました。

これではせっかくのコンピュータがもったいないと思い、病院図書室に掲載されている「すぐに役立つホームページ」を見たり、プリンタのドライバのダウンロードに挑戦したりして徐々に慣れてきました。

最近では、お気に入りのホームページもでき、コンピュータに向かう時間が増えてきました。なかなか初心者段階から抜け出せないでいますが、自分なりの楽しみ方を見つけたいと思っています。